

庭園美術館のグランドデザインについて

◇ 美術館の概要

- ・旧朝香宮邸を活用した美術館であり、国の重要文化財に指定
- ・「歴史的建造物」「美術作品の鑑賞」「緑豊かな庭園」を楽しめる、年間約22万人が訪れる美術館



◇ グランドデザインの策定 ～「誰にでも開かれた美術館」の実現

庭園美術館の魅力向上に向けた方向性をとりまとめ、全体の一体感を醸成し、回遊性を高めるなど、館のポテンシャルを最大限発揮

◇グランドデザインの方向性

《貴重な文化財建築の更なる活用》

- ・本邸未公開エリアの公開
- ・ユニークベニューのメニュー見直し
- ➡ 試行 (R5.5)の成果を反映
- ・邸宅モチーフの幅広い活用
- ➡ 新館等での装飾などに利用



邸宅モチーフを活用した装飾

《「邸宅」と「庭園」の回遊性の向上》

- ・庭園での作品展示、イベント
- ➡ プロジェクションマッピングでの演出 (R5.4 実施)
- ・各ゾーンを自由に移動できる工夫
- ・アートに触れられる演出

《訪れたくなる仕掛け》

- ・ウェルカムゾーンの整備
- ➡ 門衛所の改修を実施 (R5.2)
- ・多彩なコラボレーション企画
- ➡ 建築専攻の学生による展示 (R4.10~R5.1)



回遊性を高め、
訪れたくなる仕掛け



建物や庭園の活用



西洋庭園でのイベント



ウェルカムセンター
(旧門衛所) での展示

◇ 活用の事例

西洋庭園の活用



◇ 活用の事例

レストランでのDJパフォーマンス



新館でのワークショップ



園内各所でのアートに触れられる演出

